

令和8年5月29日から

気象の警報などが大きく変わりました

情報名称などが大きく変わるため、
防災計画等の点検や見直しをお願いします。



【警戒レベル一覧表】

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のかけ崩れや土石流	高潮 海水面上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの)住民がとるべき行動
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保!
<警戒レベル4までに危険な場所からかならず避難!>					
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに避難、避難の準備など
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認(避難場所や避難ルート、避難のタイミングなど)
警戒レベル1	早期注意情報				災害への心構えを高める

防災気象情報

いつ逃げる!?
レベルで判断!

避難の判断がよりしやすく

POINT 警報・注意報の情報名に「レベル」を付記

◎発表される警報・注意報の名称にレベルが付記されました。
避難行動と直結するレベルがすぐわかり、
避難判断の目安が明確になります。詳しくは裏面に。

【変更例】

(旧)「大雨警報」

→(新)「レベル3大雨警報」

警戒レベル3(高齢者等避難)に相当

POINT 河川氾濫の危険度の伝え方が変わりました(特別警報の新設など)

◎従来の「洪水警報」「洪水注意報」は廃止され、今後は河川の区分に応じて伝え方が変わります。

【変更例】

(旧)「洪水警報」

→「洪水予報河川」※

(新)「レベル3氾濫警報」

→「洪水予報河川以外の河川」(新)「レベル3大雨警報」

◎河川の氾濫に関し「レベル5氾濫特別警報」が新設されました。

※国土交通省または都道府県と共同で発表する洪水予報の対象河川

POINT 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

◎危険な場所から避難が必要な状況であるレベル4相当の情報が「危険警報」として発表されます。

【変更例】

(旧)「土砂災害警戒情報」

→(新)「レベル4土砂災害危険警報」

CHECK 線状降水帯の発生などは「気象防災速報」として発表します

◎極端な現象は新たに「気象防災速報」として発表します。

【変更例】

(旧)「顕著な大雨に関する気象情報」

→(新)「気象防災速報(線状降水帯発生)」

(旧)「記録的短時間大雨情報」

→(新)「気象防災速報(記録的短時間大雨)」

避難のタイミングは レベルで判断



災害が起きる前に何をすべきか、レベルごとにチェック！

時間推移のイメージ

数日～
1日前

レベル 1

早期注意情報

- ・災害への心構えを一段高める
- ・職員の連絡体制を確認する

半日～
数時間前

レベル 2

注意報

- ・ハザードマップ等で災害リスクを再確認する
- ・自治体から発表される避難情報の把握手段を再確認する

数時間～
3時間前

レベル 3

警報

- ・避難に時間がかかる**高齢者等は危険な場所から避難する**
- ・高齢者等以外の人も必要に応じて避難の準備や自主避難

2時間～
0時間前

レベル 4

危険警報

- ・**危険な場所から全員避難する**
- ※台風などにより暴風が予想される場合は、暴風が吹き始める前に避難を完了

災害発生

レベル 5

特別警報

- ・すでに安全な避難ができず、命が危険な状況
- ・今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する

命を守るために、アプリやメールで市からの防災情報を入手しましょう！

市では、災害情報や地震・気象に関する情報を、[防災情報アプリ](#) (@InfoCanal) や [防災情報メール](#) などでお知らせしています。事前に登録し、大雨や台風の時などは積極的に情報を集めましょう。



防災情報アプリ
(スマートフォン)

iPhone の場合 (App Store)



Android の場合 (Google Play)



防災情報メール

(フィーチャーフォン・ガラケー等)

bousai.kanuma-city@raidan3.ktaiwork.jp

こちらに 空メールを送信してください。

